



夏休みも終わりました。素敵な思い出はできましたか？2学期の始まりとして「自主的」「主体的」のお話をさせていただきます。皆さんは、その違いにどのような仮説を立てますか？

■ 令和7年度2学期がはじまります。

- 英国の突き刺さるような日光は時折あるものの、朝夕の気温が少し肌寒くなり夏の終わりをを感じる季節となりました。今日からロンドン日本人学校では2学期が始まります。
- 夏休み中にも、校庭開放や図書館開放で、子供たちの元気な声が校内にいっぱいに響きわたってはいました。しかし、やはり全学年が集まることで学校の良さが際立ちます。
- ロンドン日本人学校では、すでに1学期末から9月26・27日に予定されている文化祭に向けて、各学年での準備が少しずつ動き始めています。各学年では仲間とともに協力し合いながら取り組む姿が見られ、子供たちの成長を頼もしく思う日々が続いています。
- そんな中、今回は「自主性」と「主体性」について皆さんにお話したいと思います。
- この「自主性」と「主体性」。どちらも「自分から進んで取り組む姿勢」を表すように思えますが、実は大きな違いがあります。
- この違いを理解することで、家庭での声かけや学校での学びをよりよいものにできないかと考えています。

■ 「自主性」とは何か？

- 「自主性」とは、すでに「やるべきこと」が明らかになっている場面で、自分から進んで行動することを指しています。
- 例えば宿題を言われなくても計画的に進めたり、部活動の練習を自分なりに工夫したりする姿は自主的な行動です。これを過ぎ去った「夏」の遊びにたとえるなら「プール」での活動に似ています。プールでは「泳ぐ」ことが主な目的で、遊び方はある程度限定されています。安全面も確保されているため、安心して自分のペースで取り組むことができます。つまり「自主性」とは、決められた枠組みの中で自律的に力を発揮する姿勢と考えられます。

■ 「主体性」とは何か？

- 一方で「主体性」は、やるべきことがあらかじめ決まっていない状況で、自分がどう関わり、どんな意味を見いだすのかを選び取っていく態度を指します。自ら課題を見つけ、必要に応じて仲間と協力し、責任をもって取り組む姿です。
- これをこれまた過ぎ去った「夏」の遊びで表すなら「海」での遊びにたとえることができます。海では泳ぐことに加え、生き物を捕まえたり、砂浜で工夫して遊んだり、活動の幅は無限に広がります。しかし、その一方で危険な生き物がいたり、天候によって急に荒れたりすることもあります。安全が保証されていないからこそ、自分で状況を見極め、判断し、工夫して関わらなければなりません。
- ここで必要になるのは、単なる知識ではなく「生きて働く力」です。すなわち未知の状況に対応できる思考力や判断力、表現力です。現代社会が求める資質はまさにこの「主体性」なのです。
- 学習指導要領においても「主体的に学習に取り組む態度」が評価の観点に位置づけられています。知識を覚えるだけでなく、自分なりに問いを立て、仲間や地域と関わりながら学びを深めていく姿勢が重視されているのです。本校でも、普段の授業や行事を通して「自主性」と「主体性」の両方を育むことを大切にしています。
- たとえば、毎日の宿題や小テストに向けた学習では、自分のペースで計画的に取り組む「自主性」が試されます。一方、総合的な学習の時間や文化祭の準備では「主体性」が求められます。テーマを考え、方法を選び、仲間と話し合いながら形にしていく過程は、まさに「海」に漕ぎ出すような挑戦です（次へ進む）。



- 学校で育つ「自主性」と「主体性」を、家庭での声かけによってさらに伸ばすことができます。例えば「今日は宿題をどこまで進めるつもり？」や「明日のテストに向けて、どんな準備をする？」といった問いかけは、子供たちに自分のペースを考えさせ、計画的に行動する力を育てます。また、「文化祭ではどんな役割をやりたい？」や「友達と協力するとしたら、どんな工夫ができそう？」といった問いかけは、子供に自分の関わり方を意識させ、責任をもって学びや行事に取り組む姿勢につながります。大切なのは、「やりなさい」と指示するのではなく、「どうする？」と問いかけることです。子供が自分の考えを言葉にすることで、主体性は少しずつ育っていきます。
- 文化祭まで 1 か月です。ロンドン日本人学校の文化祭は、1 学期の運動会と並んで子供たちにとって「自主性」と「主体性」の両方を発揮できる大きな舞台です。自分の役割を果たす自主性、仲間と協力して一つの作品や発表をつくりあげる主体性。そのどちらもが求められます。
- 準備の過程では、思い通りにいかないことや、友達との意見の違いに悩むこともあるでしょう。しかし、そうした経験こそが「海」での学びです。困難を乗り越えたときに得られる達成感や仲間との絆は、子供たちにとって大きな財産となります。
- 保護者の皆様には、どうか温かく見守りながら励ましていただければと思います。「大変だけど頑張っているね」「友だちと協力していてすごいね」といった一言が、子供たちの大きな力になります。

★新しい英会話の先生が着任されました★

本日から「英会話」の授業の先生として Mr. Chambers が着任されました。

みなさん、はじめまして！
2 学期から一緒に英会話で勉強をする Chambers（チェインバーズ）です。楽しく英語の勉強をしましょう！



令和7年度の2学期始業式がありました！

8月26日（火）新学期がスタートしました。夏休み明けの今だからこそ新しい自分に挑戦できる大切な機会です。どうぞ一人ひとりが目標を持ち、実りある学期にしてほしいと願っています。

この2学期から国内の学校から転入され、ロンドンでの生活を新たに始められた児童生徒・保護者の皆さまにとっては、まだ戸惑いや不安も多いことと思います。

しかし、本校に在籍する誰もが、海外での学校生活を始める際に同じような経験をしてきました。困ったとき、分からないことがあるときには、どうぞ遠慮なく教職員や周囲の友達に相談してください。ここには支え合い、共に成長していく温かな仲間がいます。

皆さんが安心して学び、充実した毎日を過ごせるよう、学校全体でしっかりとサポートしてまいります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



★保護者の皆さまへ

※新学期が始まるにあたり、ロンドン日本人学校の登下校ルールや交通マナーの啓発にビデオをストリーム配信しました。必ずご覧くださいますようお願いいたします。なお、作成は昨年度、「保護者の会」パトロール委員の皆さまとボランティアの皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

